

「繁殖状況票」 A2 記入例

「鳥類記録用紙」 A1 から3次メッシュごとに転記する。

▼「繁殖状況票」 A2

調査員名：調査員の名前を記入してください。

調査年月日：調査実施日を西暦で記入してください。

メッシュコード (3次メッシュ)：記録する3次メッシュのコード番号を「鳥類記録用紙」 A1 から転記し記入してください。

調査コース番号：送付の調査地図に記載のある調査コースの番号です。(調査コース番号を「鳥類記録用紙」 A1 から転記します。)

調査の種類：1つのコースにはロードサイド調査 (2か所) が入ります。ロードサイド調査と定点調査P1と定点調査P2の記録は用紙をかって別々に記録して下さい。この欄で調査の種類を選んで○をつけてください。なお、定点の場所変更の場合は、変更した場所を地図に青書 (P1あるいはP2) して下さい。変更の場合、調査地図も必ず返送して下さい。

都道府県名：調査コースの3次メッシュの都道府県名。複数の都道府県にわたる場合は全て記入します。

調査地の標高：記録をとった調査コースの最高と最低の標高。10m単位で記入して下さい。

種名コードおよび種名：資料1「種名コード」 (p26~27) より比較的頻度の高い種を表示してあります。表示のない種については、資料「種名コード」より、種名コードと種名を得て「繁殖状況票」 A2 の最後の空欄に追加して下さい。

観察コード：複数の観察コードがある場合は、ランクの高い方を表記します。

ランク：観察コードに該当するランクに○をします。最高ランク1か所のみ。ランクが同じなら観察コードを複数表記して下さい。

個体数：種類別に3次メッシュ内の合計を個数で記入して下さい。

▼記入の要点

「繁殖状況票」 A2 は、「鳥類記録用紙」 A1 の記録から繁殖のランクを判定し、3次メッシュごとにとまとめて記録します。

「繁殖状況票」 A2 は、3次メッシュごとに用紙を変えて記録します。「繁殖状況票」 A2 の記録が電算処理の元になる資料となり「アンケート調査票」 C と共に分布図作成の基本となります。

鳥類記録用紙 A1 から3次メッシュごとに転記する。

メッシュの所属する都道府県と標高を記入してください。標高は最高と最低で10m単位です。

該当する調査の種類に○をしてください。定点調査は、P1とP2の2か所あります。

3次メッシュごとの記入となります。3次メッシュごとに用紙を変えてください。

調査コース番号を記入する。

繁殖状況票

調査員名：山田 太郎
調査年月日：2010年10月10日
メッシュコード：P1-01-01
調査コース番号：1700
標高：1700m

種名コード	種名	観察コード	個体数
001	ツバメ	1	1
002	スズメ	1	1
003	ヒヨドリ	1	1
004	アヒル	1	1
005	カモ	1	1
006	ハシロ	1	1
007	コウノチ	1	1
008	カワウ	1	1
009	カモメ	1	1
010	ハシロ	1	1
011	カモ	1	1
012	ハシロ	1	1
013	カモ	1	1
014	ハシロ	1	1
015	カモ	1	1
016	ハシロ	1	1
017	カモ	1	1
018	ハシロ	1	1
019	カモ	1	1
020	ハシロ	1	1
021	カモ	1	1
022	ハシロ	1	1
023	カモ	1	1
024	ハシロ	1	1
025	カモ	1	1
026	ハシロ	1	1
027	カモ	1	1
028	ハシロ	1	1
029	カモ	1	1
030	ハシロ	1	1
031	カモ	1	1
032	ハシロ	1	1
033	カモ	1	1
034	ハシロ	1	1
035	カモ	1	1
036	ハシロ	1	1
037	カモ	1	1
038	ハシロ	1	1
039	カモ	1	1
040	ハシロ	1	1
041	カモ	1	1
042	ハシロ	1	1
043	カモ	1	1
044	ハシロ	1	1
045	カモ	1	1
046	ハシロ	1	1
047	カモ	1	1
048	ハシロ	1	1
049	カモ	1	1
050	ハシロ	1	1
051	カモ	1	1
052	ハシロ	1	1
053	カモ	1	1
054	ハシロ	1	1
055	カモ	1	1
056	ハシロ	1	1
057	カモ	1	1
058	ハシロ	1	1
059	カモ	1	1
060	ハシロ	1	1
061	カモ	1	1
062	ハシロ	1	1
063	カモ	1	1
064	ハシロ	1	1
065	カモ	1	1
066	ハシロ	1	1
067	カモ	1	1
068	ハシロ	1	1
069	カモ	1	1
070	ハシロ	1	1
071	カモ	1	1
072	ハシロ	1	1
073	カモ	1	1
074	ハシロ	1	1
075	カモ	1	1
076	ハシロ	1	1
077	カモ	1	1
078	ハシロ	1	1
079	カモ	1	1
080	ハシロ	1	1
081	カモ	1	1
082	ハシロ	1	1
083	カモ	1	1
084	ハシロ	1	1
085	カモ	1	1
086	ハシロ	1	1
087	カモ	1	1
088	ハシロ	1	1
089	カモ	1	1
090	ハシロ	1	1
091	カモ	1	1
092	ハシロ	1	1
093	カモ	1	1
094	ハシロ	1	1
095	カモ	1	1
096	ハシロ	1	1
097	カモ	1	1
098	ハシロ	1	1
099	カモ	1	1
100	ハシロ	1	1

出現した種類の観察コードから該当する最高のランクに○をする。個体数は、その種類のメッシュ内の合計。
(「観察事項の判定項目」資料5、p35参照)

出現した種類の観察コードから該当する最高のランクに○をする。個体数は、その種類のメッシュ内の合計。
(「観察事項の判定項目」資料5、p35参照)

種名のないものについては、資料「種名コード」より種名を探しだし種名コードと種名をここに追加記入する。

▼「環境調査票」 B

調査員氏名：調査員の名前を記入してください。
 調査年月日：調査実施日を西暦で記入してください。
 調査コース番号：送られた調査地図に記載のある調査コースの番号です。(資料2「調査コース番号について」
 p28参照)

調査コース変更：調査コースの変更がある場合は「有」に、無い場合は「無」に○をする。
 都道府県名：調査コースの都道府県名。複数の都道府県にわたる場合は全て記入します。
 調査地の標高：記録をとった調査コースの最高と最低の標高。10m単位で記入してください。
 調査時間：調査の開始と終了時刻を記入してください。ロードサイド調査や定点調査と並行して調査している場合もありません。その時刻を記入のこと。
 開始地点メッシュコード(3次メッシュ)：調査を始める地点の3次メッシュのコード番号を記入してください。
 終了地点メッシュコード(3次メッシュ)：調査が終了した地点の3次メッシュのコード番号を記入してください。

● 調査コースの環境要素

区分：資料4「環境要素の区分」(p32～33参照)を使用し、調査します。必ず事前に内容を読んでおいて下さい。

チェック：調査コースの左右それぞれ25mの範囲で、該当する要素をチェックします。
 環境要素の比率(%)：調査コースの環境要素を、区分ごとに割合(10%単位)で出します。おおよそでこの割合です。10%に満たないものは、最も似かよった状況の要素に含めて下さい。「環境要素の区分」のいずれにも該当しないもの、非常に小規模なもの等については、適宜判断し、取捨選択して下さい。

記録のとおり方：左右それぞれ25mの範囲を調査します。調査コースごとでの調査です。(メッシュごとでの調査はありません) 環境調査の時間帯の制限はありませんから、ロードサイド調査と定点調査を優先し、この後に調査することをおすすめします。調査を一緒に行なうとけっこう忙しいので、余裕のある場合に併用してください。たとえば、ロードサイド調査と定点調査で調査コースを踏査した帰りや、調査コースが踏査できるが不明だったので事前調査した時などに行なってもかまいません。

「環境調査票」 B 記入例

調査コースには、調査コース番号が付けられています。その調査コース番号を記入してください。(p28「調査コース番号について」参照)

環境調査は、調査コースごとなので、調査コースの開始地点と終了地点の3次メッシュを記入する。

調査コースに変更があった場合は「有」に○をする。

調査コースの所属する都道府県名。複数の場合は、全て記載。
 調査地の標高は10m単位で最高と最低を記入して下さい。(地図から読み込む)
 調査時間は、開始時刻と終了時刻を記入して下さい。

コースを全て踏査後におおよその割合(10%単位)を記入して、合計が100%になるようにする。

備考欄は、気の付いたこと、環境が明らかに以前より変化している場合等、変化の状況などを記載してください。

区分の項目は、事前
 に「環境要素の区分」(p32～33)を
 読み、理解しておい
 て下さい。

チェック項目は、左右25m範囲の環境を調べ、欄に(チェック)をします。
 最後には記憶がたよりになりますから、環境が変わるごとにチェックを入れる
 ことをおすすめします。(一つの欄に何個もチェックが入る場合もある)

B 環境調査票

調査員氏名 鳥山 一博 氏 調査年月日 西暦 1998 年 6 月 11 日

調査コース番号 2100-0219 調査コース変更 有

都道府県名 長野県 調査地標高 700 / 750 調査時間 5:00 - 7:00

開始地点メッシュコード(3次メッシュ) 5158-04-811 終了地点メッシュコード(3次メッシュ) 5198-04-83

調査コースの所属する都道府県名(複数の場合は、全て記入してください)

区分	比率(%)
道路要素(道路、歩道、自転車道、 <input type="checkbox"/> 公園、 <input type="checkbox"/> 公園内、 <input type="checkbox"/> 公園外、 <input type="checkbox"/> 公園内、 <input type="checkbox"/> 公園外)	70
水要素(河川、湖沼、池田、 <input type="checkbox"/> 池田、 <input type="checkbox"/> 池田外)	10
緑地要素(公園、 <input type="checkbox"/> 公園内、 <input type="checkbox"/> 公園外、 <input type="checkbox"/> 公園内、 <input type="checkbox"/> 公園外)	—
農地要素(農地、 <input type="checkbox"/> 農地内、 <input type="checkbox"/> 農地外、 <input type="checkbox"/> 農地内、 <input type="checkbox"/> 農地外)	—
住宅要素(住宅、 <input type="checkbox"/> 住宅内、 <input type="checkbox"/> 住宅外、 <input type="checkbox"/> 住宅内、 <input type="checkbox"/> 住宅外)	10
その他要素(その他、 <input type="checkbox"/> その他内、 <input type="checkbox"/> その他外、 <input type="checkbox"/> その他内、 <input type="checkbox"/> その他外)	—

備考欄
調査コース：水産工業団地、一部穴場、→コース変更地内循環行、●

* 環境要素の比率の合計は100%になるように記入すること。

方法

- アンケート調査は、現地調査を行なわれない地域や時期等の鳥類の繁殖や生息状況を把握するために行なうものです。調査員が所有されている情報をアンケート調査票に記入してください。
- ・調査地は日本全域です。
 - ・調査期間は、1997年1月からです。
 - ・調査地の地図を必ず添付してください。
(観察地点を示した調査地図がないと、せっかくの記録が分布図作成にいかせなくなってしまいます。地図の入手、コピーはお手数ですが是非ご協力ください。)

調査用紙の説明と記入例

▼「アンケート調査票」C

- 記入年月日：記入した日を西暦で記入してください。
- 記入者氏名：調査員の名前を記入してください。
- 記入者連絡先：記入者の連絡先。都道府県から記入してください。
- 調査期間：「調査依頼書」を参照してここに記入します。
- 調査地図：調査場所の地図（またはそのコピー）を必ず添付してください。3次メッシュ（下記参照）を特定するのに不可欠です。地図に名前がある場合は、名前を記入してください。なるべく詳しい地図が必要ですが、普段お使いのロードマップ、探鳥地等で有名な場所であれば観光パンフレットなどでも結構です。地名がしっかり記載されているものがあります。
- 調査地名：調査地を市町村程度まで記入して下さい。
- 種名コード：資料1「種名コード」(p26～27)を参照して、種名に該当する種名コードをふって下さい。ただし亜種は該当する種のコードとします。
- 種名：種名を記入します。
- 観察コード：「観察事項の判定項目」(p35)を用い、観察事項より観察コードを記載します。
- ランク：「観察事項の判定項目」(p35)から繁殖の可能性を判定します。
- 3次メッシュ：3次メッシュの特定は、専用の地図がないと困難ですので、調査員からの添付地図をもとに研究センターで記入します。「3次メッシュについて」(p30～31)を参照してください。特定できる場合は記入をお願いします。
- 観察地：添付地図上に記入した観察地と運動した記号を記入します。なるべく簡単にわかりやすい記号をお願いします(例 (a)(b)(c) …①②③ …等)。
- 観察年月：観察された年月を記入。
- 出典/観察者：鳥の観察者、団体等を記入。団体による探鳥会等の記載は、～支部探鳥会、～野鳥同好会、(観察者名) 他有志等としてください。

調査場所の地図は必ず添付してください。

調査地図名と調査範囲の住所を市町村あたりまで記入してください。(調査地図のない記録として活メッシュの記録として活かされないためです)

種名コードは、「種名コード」(p26～27)を参照。

メッシュの特定は専用の地図がないと困難なので、研究センターで記入します。特定できる場合は記入して下さい。(調査した場所の地図は必ず必要です)

繁殖可能性(ランク)は、「観察事項の判定項目」を参照(p35)。観察コードからランクの判定をする。

「観察事項の判定項目」を参照(p35)。観察事項より観察コードを記入する。

所属されている支部を記入してください。所属がなければ、「無し」と記入。複数の場合は、複数記入。

調査期間は「調査依頼書」を参照。(この「調査票」に指示されている場合もあり)

住所は都道府県名から記入して下さい。

観察された年月を記入。(調査期間内の記録)

アンケート調査票

記入年月日: 1997年1月15日

記入者氏名: 山田 太郎

記入者連絡先: 東京都府中〇〇〇〇地〇〇〇〇

調査期間: 1997年1月1日～1997年1月31日

調査地名: 東京都府中〇〇〇〇地〇〇〇〇

種名	種名コード	ランク	メッシュ	観察事項	観察コード
ヒメタビ	b1	b	30	①	100
ヒメタビ	b2	b	30	②	100
ヒメタビ	c1	c	50	③	100
ヒメタビ	c2	c	50	④	100
ヒメタビ	c3	c	50	⑤	100
ヒメタビ	c4	c	50	⑥	100
ヒメタビ	c5	c	50	⑦	100
ヒメタビ	c6	c	50	⑧	100
ヒメタビ	c7	c	50	⑨	100
ヒメタビ	c8	c	50	⑩	100
ヒメタビ	c9	c	50	⑪	100
ヒメタビ	c10	c	50	⑫	100
ヒメタビ	c11	c	50	⑬	100
ヒメタビ	c12	c	50	⑭	100
ヒメタビ	c13	c	50	⑮	100
ヒメタビ	c14	c	50	⑯	100
ヒメタビ	c15	c	50	⑰	100
ヒメタビ	c16	c	50	⑱	100
ヒメタビ	c17	c	50	⑲	100
ヒメタビ	c18	c	50	⑳	100
ヒメタビ	c19	c	50	㉑	100
ヒメタビ	c20	c	50	㉒	100
ヒメタビ	c21	c	50	㉓	100
ヒメタビ	c22	c	50	㉔	100
ヒメタビ	c23	c	50	㉕	100
ヒメタビ	c24	c	50	㉖	100
ヒメタビ	c25	c	50	㉗	100
ヒメタビ	c26	c	50	㉘	100
ヒメタビ	c27	c	50	㉙	100
ヒメタビ	c28	c	50	㉚	100
ヒメタビ	c29	c	50	㉛	100
ヒメタビ	c30	c	50	㉜	100
ヒメタビ	c31	c	50	㉝	100
ヒメタビ	c32	c	50	㉞	100
ヒメタビ	c33	c	50	㉟	100
ヒメタビ	c34	c	50	㊱	100
ヒメタビ	c35	c	50	㊲	100
ヒメタビ	c36	c	50	㊳	100
ヒメタビ	c37	c	50	㊴	100
ヒメタビ	c38	c	50	㊵	100
ヒメタビ	c39	c	50	㊶	100
ヒメタビ	c40	c	50	㊷	100
ヒメタビ	c41	c	50	㊸	100
ヒメタビ	c42	c	50	㊹	100
ヒメタビ	c43	c	50	㊺	100
ヒメタビ	c44	c	50	㊻	100
ヒメタビ	c45	c	50	㊼	100
ヒメタビ	c46	c	50	㊽	100
ヒメタビ	c47	c	50	㊾	100
ヒメタビ	c48	c	50	㊿	100
ヒメタビ	c49	c	50	㊿	100
ヒメタビ	c50	c	50	㊿	100

観察された年月を記入。(調査期間内の記録)

住所は都道府県名から記入して下さい。

種名コードは、「種名コード」(p26～27)を参照。

メッシュの特定は専用の地図がないと困難なので、研究センターで記入します。特定できる場合は記入して下さい。(調査した場所の地図は必ず必要です)

繁殖可能性(ランク)は、「観察事項の判定項目」を参照(p35)。観察コードからランクの判定をする。

「観察事項の判定項目」を参照(p35)。観察事項より観察コードを記入する。

添付地図の調査地に記入しこの構と一致させる。「①②③…」、「(a)(b)(c)…」などと記入。

鳥の観察者、団体等を記入。
～野鳥同好会
～支部探鳥会
～他有志 等
記号化はこんな風なものでもよい。

返送

返送用表紙[D]に必要な事項を記入の上、以下の書類を返送して下さい。
なお、アンケート調査票[D]については、「調査依頼書」の指示に従ってください。

▼返送書類

1. 調査コース地図 (調査コースに変更の生じた場合)
2. 環境調査票 [B] (1コース1枚)
3. 鳥類記録用紙 [A1] (ロードサイド調査と定点調査の複数枚)
4. 繁殖状況票 [A2] (ロードサイド調査と定点調査の複数枚)

以上1つの調査コースについて、
複数のコースを調査した場合は、1~4の繰り返しで
まとめてご返送ください。

調査コース、定点の変更が
あった場合「調査コース地
図」も返送下さい。

「D返送用表紙」を表紙とし
て返送して下さい。

都道府県から記入。

調査コース番号を記入。
定点ないし調査コースに変
更があった場合は必要事項
に○をし変更点を青書した
「調査コース地図」を添付
する。

アンケートにも答えて頂け
ると助かります。

データチェック

研究センターから調査員の方へ、データの内容等の確認、質問の際には、よろしくお願い致します。

調査結果の取り扱い

お寄せいただいた調査票のデータは、各種ことの集計を行なうとともに1/5万地形図単位の分布図を作成し、公表します。

なお、財団法人日本野鳥の会がとりまとめた調査結果は、自然環境保全基礎調査検討会鳥類分科会委員により内容等について点検(判断)を受け、希少種等の取り扱い、結果報告書の公表等については同分科会と連携行で調整を行ないますので承知おまください。

調査コース番号	ロードサイド調査		定点調査	
	鳥数	観察数	鳥数	観察数
1	2	0	0	2
2	0	0	2	4
3	2	0	0	2
4	0	0	2	4
5	2	1	0	0
6	0	0	0	5

調査コースの変更
① 無
② 無
③ 無
④ 無
⑤ 無
⑥ 無